

- ・ 社会事象に対する問題（課題）を発見させ、多様な視点から追究させる工夫
- ・ 他者との「学び合い」の場を通して、自らの考えを広げたり、深めたりして意思決定する工夫

社会科学学習指導案（地理的分野）

学 級 2年5組（男子20名女子20名計40名）

場 所 2年5組教室（2年校舎4階）

授業者 教 諭 北 園 美 佐

1 単 元 世界からみた日本の人口

2 単元について

本単元は地理的分野の内容の(2)「日本の様々な地域」の中項目イにおいて取り上げられている「世界と比べた日本の地域的特色」の(イ)人口を指導内容として構成したものである。この単元では、「世界の様々な地域」の学習成果から、日本及び日本の諸地域の地域的特色をとらえる学習を通して、国土の認識を深めることをねらいとしている。そこで、日本及び世界の国々との比較から日本の人口と人口密度、少子高齢化の現状と課題を理解させるとともに、国内の人口分布、過疎・過密問題を取り上げ、日本の人口に関する特色を大観させることが重要である。また、日本は世界の中でも人口が集中している地域の一つになっており、また、人口の増減や移動などに伴う様々な問題がみられる中で、日本は世界に類をみない速さで少子高齢化が進み、それに伴う課題に直面している。さらに、世界的視野でみると日本全体が人口集中地域になっているように見えるが、日本国内の人口分布をみると、地域によって不均等であり、平野部への人口の集中が目立つ一方で、山間部は人口が減少している地域になっている。そこで、本単元の学習を通して、今後の日本で深刻化すると予想される少子高齢化や人口減少などの課題について認識をもたせ、郷土の人口に関する特徴を知り、課題を解決するための基盤づくりができるという点において、本単元の学習は生徒にとって有意義であると考えられる。

本学級の生徒は、実態調査から「暗記が苦手である」「覚えることが多い」などの理由から、社会科が得意でない生徒が多い。しかし、「世界のことがわかる」「自分の国と異なる文化や地形が学べる」等の理由で、地理的分野に興味・関心をもっている生徒もいる。その反面、自ら全体の前で発言することを苦手とする生徒も多い。しかし、グループ学習等では、「自分では分からないことを聞き、教えてもらえる」「自分とは違う考え方がある」といった理由で、互いに学び合おうとする意欲的な姿も見られる。世界からみた日本の人口については、世界の中で人口が多い国については理解しているが、日本の人口が世界の中でも多いということを理解している生徒は約半数であった。また、鹿児島県の人口については、他県と比較すると少ないと理解している生徒が多く、鹿児島市の人口についても、他の市町村と比較すると多いと理解している生徒がほとんどであった。そこで、生徒にとって身近な人口に対する問題や課題を生徒とともに発見し、多様な視点から追究させ、他者との「学び合い」の場を通して自らの考えを広げたり、深めたりして意思決定する場面を意図的に設定していくことで、習得事項の活用が図られ、思考力・判断力・表現力がさらに向上すると考えられる。

そこで、本単元の指導にあたっては、世界や日本の人口分布図や人口ピラミッド等の資料を読み取らせ、人口分布とその変化について理解させるとともに、課題についても追究させたい。その際、身近な地域に関する資料も取り上げ、人口問題を生徒の実生活との関連において考えさせたい。この一連の学習活動において、「学び合い」を取り入れ、自分の意見と他者の意見の比較・検討をしたり、自分の意見を根拠に基づいて説明したりするなどの活動を重視し、他者の意見を聞き判断し、自分の考えをさらに深めていけるような能力を育てていきたい。

3 単元の目標

- (1) 日本の人口構成や人口分布が大きくかたよっていることに関心をもち、高齢化や少子化、過疎・過密がもたらす社会的な課題について意欲的に追究し、とらえることができる。 (社会的事象への関心・意欲・態度)
- (2) 主題図や統計資料などから、世界の人口の過密・急増地域の分布をとらえるとともに、その原因や背景、問題点、日本の過疎・過密地域での暮らしの課題などについて考察し、適切に表現できる。 (社会的な思考・判断・表現)
- (3) 人口構成や人口分布、日本の過疎・過密地域の特色を考察するために、人口ピラミッドや分布図を活用し、有用な情報を適切に選択したり、読み取ったり図表などにまとめたりすることができる。 (資料活用の技能)
- (4) 世界の人口が先進工業国とアジアの稲作地域に集中して分布していることに気付くとともに、日本にも過疎・過密地域があり、人々の暮らしに大きな影響を与えていることを理解することができる。 (社会的事象についての知識・理解)

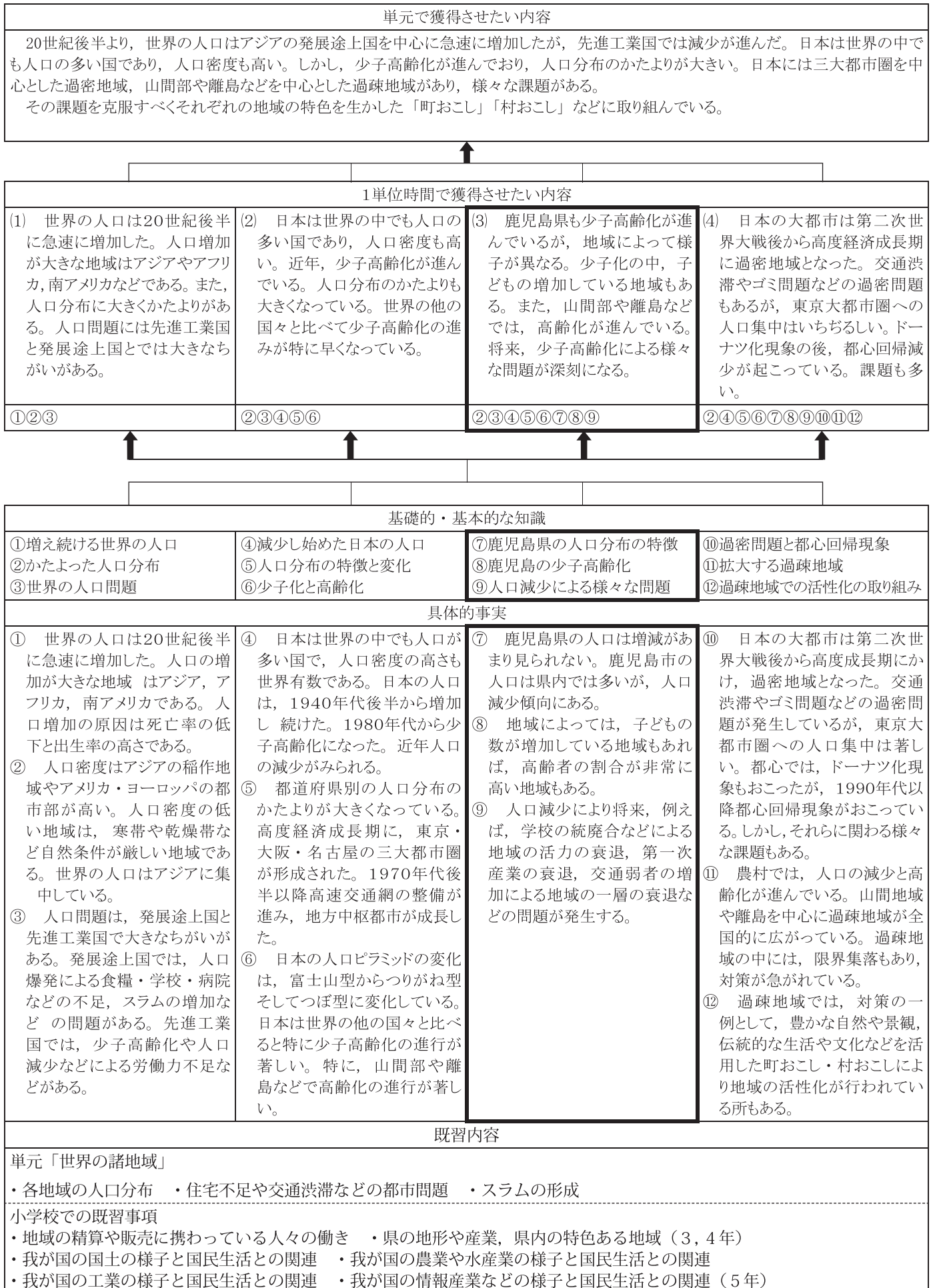
4 単元の指導計画 (全4時間)

時	主題	学習内容	学習課題	時間
1	世界の人口分布と変化	<ul style="list-style-type: none"> ・増え続ける世界の人口 ・かたよった人口分布 ・世界の人口問題 	世界の人々はどこに多く生活し、そこではどのような問題が起こっているのだろうか。	1
2	日本の人口と人口問題	<ul style="list-style-type: none"> ・減少し始めた日本の人口 ・人口分布の特徴と変化 ・少子化と高齢化 	世界と比べて、日本の人口にはどのような特色があるのだろうか。	1
3	鹿児島県の人口分布の特徴と発生する問題	<ul style="list-style-type: none"> ・鹿児島県の人口分布の特徴 ・将来、発生する問題 	鹿児島県の人口分布にはどのような特色があるのだろうか。また、将来どのような問題が最も深刻になるのだろうか。	1 (本時)
4	日本の過疎・過密問題	<ul style="list-style-type: none"> ・過密問題と都心回帰現象 ・拡大する過疎地域 ・過疎地域での活性化の取り組み 	日本の過密地域や過疎地域は、どのような問題をかかえているのだろうか。	1

5 単元における評価規準

社会的事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象についての知識・理解
世界や日本の人口の特色を基に、世界と比べた日本の地域的特色に対する関心を高め、意欲的に追究している。	世界と比べた日本の地域的特色を、世界的視野や日本全体の視野からみた人口を基に多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	世界と比べた日本の地域的特色に関する様々な資料から、世界と比べた日本の地域的特色などに関する様々な資料を収集し、必要な情報を選び、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	世界と比べた日本の地域的特色について、世界的視野や日本全体の視野からみた人口を理解し、その知識を身に付けている。

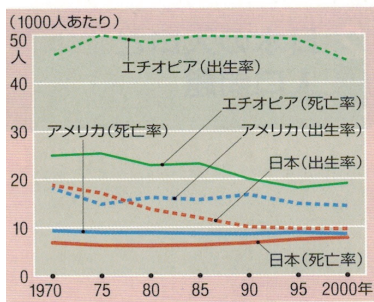
6 単元の「学習内容の構造図」



7 到達目標問題

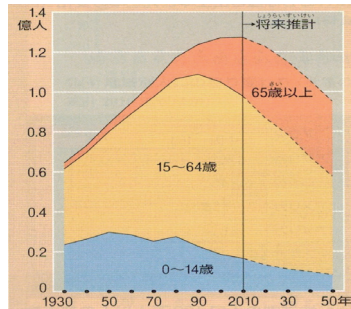
問題	解答例	解答の根拠
<p>1 資料1, 資料2を参考に, 世界中における日本の人口の特色を説明しなさい。</p> <p>2 資料3～資料6を参考に日本の過密地域と過疎地域の課題と対策を説明しなさい。</p>	<p>1 日本の人口は, 他の国と比べると死亡率も少ないが, 出生率も減っている。少子高齢化が進んでおり, 将来人口が減少する傾向がみられる。</p> <p>2 過疎地域の課題として, 高齢化による働き手の減少が挙げられる。対策は特産品の加工場や販売所などを作ったり, 若者が働ける場所を確保したりすることである。</p> <p>過密地域の課題として, 人口集中による住宅不足などが挙げられる。対策は, 住宅を郊外に分散させるなどである。</p>	<p>○ 単元を通して学んだことを基に説明できている。</p> <p>○ 資料と関連付けて説明できている。</p> <p>○ 学習したことや資料をもとに, 自分の考えを具体的に説明できている。</p>

【資料1】



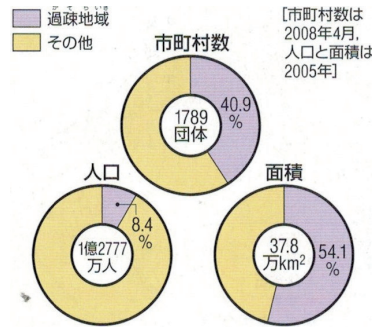
⑦ おもな国の出生率と死亡率の変化 (国連資料)

【資料2】



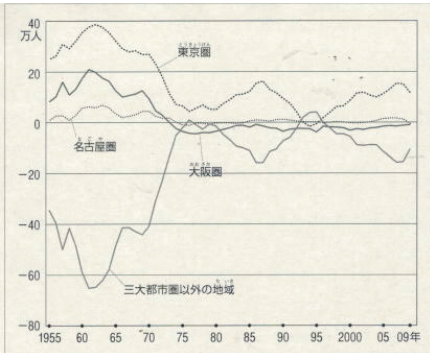
⑧ 日本の人口の変化 (第60回日本統計年鑑ほか)

【資料3】



⑨ 日本の過疎地域の割合

【資料4】



【三大都市圏とそれ以外の地域の流入人口の変化】

【資料5】



【新宿駅のラッシュアワー】

【資料6】



【インターネットを使い, 特産品の販売を行う馬路村の人々の様子】

8 本時の実際 (3/4)

- 題材 「鹿児島県の人口分布の特徴と将来発生する問題」
- 目標
 - 鹿児島県の人口分布の特徴などについて, 様々なグラフや資料から読み取ることで, 身近な地域への興味・関心を高めることができる。
 - 鹿児島県の人口分布の特徴から, 将来, 起こりうる問題について, 様々なグラフや資料を見て, 考え, まとめ, 説明することができる。

(3) 授業設計の工夫

ア 身近な社会事象に対する疑問から問題(課題)を発見させ, 多様な視点から追究させる工夫 **研究の視点1**
 鹿児島県の人口分布に関するさまざまな資料やグラフを提示し, 身近な地域について現状を知り, 考えることで課題への興味・関心を高めるものにする。

イ 他者との「学び合い」の場を通して, 自らの考えを広げたり, 深めたりして意思決定させる工夫
 学習活動の展開の中で, 様々なグラフや資料を見て, 鹿児島県の人口分布の特徴をとらえ, 将来, どのような問題が深刻になるかということを考えるという学習を通して, 自分の意見を資料やグラフなどから読み取り, 明確に根拠に基づいて考え, まとめた。 **研究の視点1**

その後, 班で自分の意見を述べ, 各班で話し合い, まとめさせるという学習を行った。いくつかの視点をもとに, 様々な資料から分析し検討することで, 様々な角度から自分たちの住む地域の現状や問題などについて考えを深めることができる。その際, 班活動を通して, 他の人の意見を聞いたり, 反論したりすることで, 自分の考えに広がりや深まりがでたりする。

(4) 展開

○ 第3時

過程	時間	形態	主な学習活動	○指導上の留意点 ◎評価 ※授業のポイント
導入	5分	一斉	<p>1 日本の人口分布のグラフと鹿児島県の人口分布のグラフを見て、気づいたことを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口が減少している ・高齢者の数が多い ・子どもの数が少ない <p>2 学習課題を確認する。 〔学習課題〕</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>鹿児島県の人口分布にはどのような特徴があるだろうか。また、その特徴から、将来、どのような問題が最も深刻になるだろうか？</p> </div>	<p>○ 生徒が興味・関心を高められるような身近な資料を準備する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口が減少している。 ・少子高齢化が進んでいる。 <p>○ 学習課題を提示する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>※ 身近な社会事象に対する疑問から問題（課題）を発見させ、多様な視点から追究させる工夫</p> </div> <p>・倍率の変化から人口が減っていることに気づかせる。</p> <p>◎ 1の学習活動から、この学習に対する関心を高めることができたか。</p>
展開	8分	一斉	<p>3 様々な資料を見て、人口分布の特徴を考え、まとめ、発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業をやる人が減っている ・老人福祉施設の数が多くなっている ・学校は減ってきている ・バスの本数が鹿児島市は多いが、日置市は少ない 	<p>○ 人口分布に特徴のある様々な資料を提示する。</p> <p>公立高校の倍率（2000年と2014年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就業別（農業）人口分布のグラフ ・病院、老人福祉施設などの数の分布 ・学校の統廃合の資料 ・鹿児島市と日置市のバスの時刻表 など <p>○ 発表を聞き、気付いたことや自分とは異なる考え 方などがあればノートのメモ欄にメモさせる。</p>
	10分	個	<p>4 鹿児島県の人口分布の特徴から、「将来、どのような問題が最も深刻になるか」視点を1つ選び、自分の意見を考えまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育面：子どもの数が少なくなり、学校が統廃合され、地域に若者が少なくなる ・産業面：農業に就く人が減り、農業が廃れていく ・医療・福祉面：老人が増え、老人ホームなどは増えるが、働く人は少なくなる。 ・交通面：バスの路線がなくなり、地方に住む人はバスが使えなくなる 	<p>○ 各資料を見て、各視点について1人1つずつ分担 させ、個別に考えを明確にまとめさせる。</p> <p>【視点】→ 1 教育面 2 産業面 3 医療・福祉面 4 交通面</p>
	10分	班	<p>5 各班で話し合い、意見を一つにまとめる。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>※ 他者との「学び合い」の場面を通して、自らの考えを広げたり、深めたりして意思決定する工夫</p> </div>
	10分	班	<p>6 各班の意見を発表する。</p>	<p>○ 班で意見をまとめる時に、視点に基づいて、起こりうる問題を明確に説明できるように指示する。</p> <p>◎ 積極的に意見を述べたり、反論したりするなど、班活動に意欲的に取り組むことができたか。</p> <p>○ 発表を聞き、気付いたことや違う考え方などノートにメモさせる。</p>
終末	5分	個	<p>7 これまでの学習を振り返り、学習課題に対する自分の考えをまとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>〔学習課題〕に対するまとめ例</p> <p>鹿児島県の人口は減少傾向にある。特に地方や離島の人口減少率が大きい。また、高齢者の数が増え、子どもの数は減少している少子高齢化でもある。今後、子どもが少なくなると、学校が減り、若者がいなくなり、地域に元気がなくなるなどの問題が深刻になる。</p> </div>	<p>○ ワークシートにメモさせたことも参考に自分の考えを書かせる。</p>
	2分	一斉	<p>8 次時の学習について確認する。</p>	